

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	3	・全員が1つの部屋だと狭いから2グループに分けている。 ・4月より隣の部屋も使用し定員20名で運営していき、1人当たりのスペースは現行の3.60㎡より5.38㎡になります。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	7		・規定はクリアしているが現状では足りない事があり、他事業からの応援を頼んでいます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		・バリアフリー化にはなっているが改善しないといけない所もあるので会議等にて話し合っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	7		・日々の振り返りは出来ている。目標設定を明確にし共通認識する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		6	2	・保護者アンケートを実施し業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	5	1	・ホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	3	・行政の実地指導で指摘を受けたところは、早急に改善しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2		・個別で研修へ行っている。研修報告をする機会を儲け職員間で共有していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	1	・保護者のニーズや課題になりがちなので、子どものニーズや課題も客観的に分析し、個別支援計画を作成していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	6	1	・今後アセスメントツールについて職員間で共有し支援に繋げていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	5		・みんなで意見を出し合う場を作り立案していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	6		・活動プログラムは固定化していないが、内容が固定化しつつあるので、職員間で意見を出し合い改善していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	7		・毎日のミーティングで課題設定をして取り組みます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	4		集団活動の中で個別活動が必要な時には対応しています。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・毎日のミーティングで打ち合わせをしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		・支援日翌日のミーティング時に振り返りをしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・職員会議により記録の書き方など話し合い支援の改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		・定期的にモニタリングを行い計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	6		・ガイドラインの総則を読み直し職員間で共有し支援に繋げていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		・今後は担当している職員が参加できるようにしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			・連携はとれているので、適切な情報共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5		・保護者からの指示をマニュアル化している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		・特定の児童発達支援センターとは情報共有できています。その他の所とも情報共有が出来るように取り組んでいます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4		・必要に応じて情報提供をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	2	・連携をとり助言をもらっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	・法人の大きな行事では交流はあるが、一緒に活動は出来ていないので、職員が間に入り一緒に活動できるように取り組んでいます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	1		・放課後等デイサービス連絡協議会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		・送迎時に話が出来た時にはしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6	1	・ペアレント・トレーニングは出来ていないが、対応力向上に繋がる助言はしています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	6		・契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4		送迎時やモニタリング時に話を聞き職員間で話し合い必要な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	2	・現在、保護者の集いが休止状態なので開催できるように取り組んでいきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		・苦情窓口は整備しています。また、苦情があった場合には迅速に職員間で話し合い対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	5		・連絡帳やホームページを活用し情報発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			・十分に注意して取り組んでいます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	3		・必要に応じて個別に対応していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3		・法人の行事には招待しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	5		・マニュアルを策定し職員間で共有していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	2	・避難訓練を実施はしていないが計画している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	1	・個別にて権利擁護等の研修に行っているため職員間で共有できる場を作っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	6	1	・保護者には事前に説明して了解を得ているが個別支援計画には記載していなかったため記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4		・保護者よりの指示にて対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3		・ヒヤリハット事例集は作成しているが事業所内での共有が出来ていないので会議等で話し合います。